

おおもとウィメンズクリニックレター Vol.19 19周年記念版



19周年に際して

院長 大本裕之

第20回世界バラ会議福山大会は成功裏に終わり、レガシーとして受け継がれる事を期待します。クリニックのばら花壇(Jardin des Roses)にも全国から多くの見学者にご来訪頂きました。また、クリニックに枝広福山市長様より特別感謝状を頂きました。開院以来19年、ばらのクリニックとして診療してきました。昨年もばら花壇コンクールばらの花部門大賞、ガーデンツーリズム部門大賞を頂き連続受賞継続中です。ローズマインドを育みながらライフサイクルを対象とした「女性医学」を重視して、診療に心掛けて来ました。昨今の国の医療制度、診療体制は大きく変革されてきています。マイナンバーカードによる保険証、オンライン資格確認が始まり、電子処方箋の発行体制等々、日々対応に追われている感もあります。これからクリニックに求められる、新たな診療に十分答えられるように引き続き医療体制を整え、良質な医療とサービスを提供いたします。そして20年目に入り、初心を忘れず、職員一同、患者様と向き合い、全ての女性のためのクリニックの理念を目指します。

クリニックも20年目に突入します

副院長 大本佳恵

ご存知の方も多いかもかもしれませんが、FMふくやまで毎月第3金曜日の10時30分から「教えて、よしえ先生」というコーナーがありまして、今年でなんと10年目の放送となります。この間にもクリニックも私自身も多くの苦楽がありました。今こうしてマイクの前でお話できるのも多くの方々のご支援の賜物です。放送内容も診察室の延長のような、OC/LEP剤やHPVワクチンの説明、幸年期（私は敢えて更年期とは言いません）の向き合い方、性教育の必要性だけでなく、クリニックのローズガーデンやプライベートの話など多岐に渡っています。その放送を聴いて受診してくださる患者様も増えてきており、尚一層頑張っけて発信していこうと思っています。

クリニックもいよいよ20年目に入ります。スタッフ一丸となって院長を盛り立て、開院当初の理念でもある「すべての女性のホームドクター」になれますよう精進する覚悟です。

特別感謝状 福山市長 枝広直幹様より



祝 連続受賞 第57回ばら花壇コンクール ばらの花部門大賞 ガーデンツーリズム 大賞



〒720-0830 福山市水呑町三新田2丁目27



TEL: 084-920-5155

<http://ohwc.jp>

2025年度 クリニックのデータ

2025年は新規登録患者様 754人（福山市以外は125人(16.6%)、多い順に尾道市、笠岡市、府中市、井原市、他と広範囲な地域から来院頂きました）、のべ10162人の患者様に来院いただきました。毎年、クリニックの統計を整理しながら、気持ちを新たに地域医療におけるクリニックの役割・責任を思い、診療していく所存です。

子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍など良性疾患の多くは倉敷成人病センター様の腹腔鏡下手術・ロボット手術により患者様のQOLを保ちながら治療がなされました。悪性疾患は福山医療センター、福山市民病院、中国中央病院、倉敷成人病センター様などと病診連携をはかりました。子宮頸部上皮内腫瘍；高度異形成8名、子宮頸癌3名、子宮体癌4名、卵巣癌1名、子宮肉腫1名の患者さまの迅速な診断がその後の適切な医療を受けて頂ける端緒となることが出来ました。子宮頸癌は一次予防として、子宮頸癌予防ワクチン（HPVワクチン）のキャッチアップ制度は終了しますが、小学6年から高校1年までの定期接種の啓蒙と定期接種率の向上がのぞまれます。

不妊症に対しては子宮卵管造影検査を24名に行い、排卵誘発、タイミング法、人工授精までしか扱っていませんが、ストレスが大きくなるような診療に配慮しています。高度生殖補助医療は指定医療機関様と連携を図り、よい成績を収めています。

LEP製剤（低用量エストロゲン・プロゲステン配合薬：月経困難症治療薬およびピル）は月平均428シート処方でした。他の選択肢としてジェノゲスト処方、子宮内黄体ホルモン放出システムも増加し、女性の生活改善に役立っています。

スタッフより

（看護師）クリニックの一日はクリニックのシンボルでもある「薔薇」の掃除から始まります。私はこの時間を大切にしています。掃除は仏教では「心を磨く」、神道では「祓い清める」意があります。私も「心を整え、環境を整える時間」と思っています。気持ちを整え、本年も患者様との出会いを大切に笑顔で頑張る参ります。

（看護師）人生の節目を迎え、これまで重ねてきた経験を力に、これからも患者様の気持ちに寄り添い、安心できる時間をそっと支えていきたいと思っています。

（看護師）入職2年、余裕のなかった私ですが、少しずつ患者様の表情、しぐさ等のご様子からお声かけできるようになったかなと思います。また看護師10年目の節目でもあり、初心を忘れず、私らしく笑顔で頑張りたいです。

（医療事務）昨年4月にクリニックの一員になり、不安と緊張の一年でした。日々の業務にも少しずつ慣れてきました。まだまだ未熟ですが、患者様に安心して来院して頂けるよう笑顔で努めて参ります。

（医療事務）昨年5月にクリニックの一員となり、日々の業務に精一杯の一年でした。今年はもう少し余裕を持って、患者様に安心して来院していただけるよう、丁寧な接遇を心がけたいと思います。

（医療事務）昨年、島根県から福山に引っ越してきました。ばらのまち福山の、ばらのクリニックで働くことができると嬉しく感じています。温くなる、ばらの季節をたのしみしています。福山の気候のように穏やかで癒しの空間がつかれるよう、務めていきたいと思っています。

（医療事務）昨年は、大きな変化があった年で思い悩むことも多かったですが、スタッフの皆に支えられ乗り切ることができ感謝の1年でした。今年は新たな仲間も増えました。気持ちも新たに、患者様に安心して帰って頂けるよう力添えをさせていただきます。

